

# 米軍基地問題とは何か

## ～安保改定 50 年に考える～

### 兵庫県弁護士会憲法市民集会

日本で日米安全保障条約改定から50年を迎えます。普天間基地の沖縄からの撤去・移設問題をめぐって、米軍基地の「抑止力」を問い直す議論がマスコミでも取りざたされています。\*米軍の「抑止力」とは何か、\*米軍基地が日本にある理由、\*日本の平和、アジアの平和、世界の平和にとって日本にある米軍基地はどのような意味を持っているのか。この問題は、沖縄の人たちや米軍基地の周辺に住んでいる人たちだけの問題ではなく、日本に住んでいる私たち皆が真剣に考えていく必要がある問題だと思います。今年度の憲法市民集会は、普天間基地問題から、日本にある米軍基地の意味、また変容する最近の米軍と自衛隊の関係などを市民の皆様と一緒に考えていきたいと思ひます。



### プログラム

- ① 米軍基地問題に関するDVD上映
- ② 基調報告(当会憲法問題委員会)
- ③ 作文「みんなで憲法を考えよう」  
優秀作品発表・表彰式
- ④ 講演「迷走する普天間問題 日米安保を問う」  
半田 滋氏(東京新聞編集委員)



参加無料  
予約不要

2010.11.6(土)  
午後1時～4時30分ころ

### 兵庫県弁護士会館4階講堂

〒650-0016 神戸市中央区橘通1-4-3

JR「神戸」駅から徒歩7～8分

神戸高速鉄道「高速神戸」駅から徒歩7～8分

神戸市営地下鉄「大倉山」駅から徒歩5～6分

主催・お問い合わせ先

兵庫県弁護士会

電話: 078-341-7061 (代) <http://www.hyogoben.or.jp/>

後援: 日本弁護士連合会





## 半田 滋 (はんだ しげる)



1955年(昭和30年)栃木県宇都宮市生まれ。

下野新聞社を経て、91年中日新聞社入社、東京新聞編集局社会部記者を経て、2007年8月より編集委員。93年防衛庁防衛研究所特別課程修了。92年より防衛庁取材を担当。04年中国が東シナ海の日中中間線付近に建設を開始した春暁ガス田群をスクープした。07年、東京新聞・中日新聞連載の「新防人考」で第13回平和・協同ジャーナリスト基金賞(大賞)を受賞。

著書に、「防衛融解 指針なき日本の安全保障」(旬報社)、「『戦地』派遣 変わる自衛隊」(岩波新書) = 09年度日本ジャーナリスト会議賞受賞、「自衛隊vs北朝鮮」(新潮新書)、「闘えない軍隊」(講談社+α新書)、などがある。

### 作文「みんなで憲法を考えよう」

#### ～募集要項～

##### 1 テーマ

「憲法・人権・平和」  
日本国憲法に関わる内容でしたら自由です。読書感想文でも構いません。作品には、それぞれご自身でタイトルをつけて下さい。

##### 2 表彰

作品を審査の上で、最優秀賞・優秀賞として10名程度の方を表彰します。賞品として、最優秀賞には3万円相当の図書カード、優秀賞には1万円相当の図書カードを差し上げます。また、応募数によって、生徒、学生、一般など部門を分けて表彰することもあります。

##### 3 応募方法

作品の冒頭に住所、氏名、年齢、電話番号を明記。生徒、学生の方は学校名と学年(大学生の方は学部も)を明記下さい。また、優秀な作品につきましては、当会が作品を発表することがありますので、発表時に匿名を希望される場合には、応募の際にその旨を明記下さい。

##### 4 字数

800字～2000字程度まで(手書きの場合には原稿用紙にご記入下さい。)

##### 5 応募先

- ①郵送  
〒650-0016  
神戸市中央区橋通1-4-3 兵庫県弁護士会 懸賞作文 係
- ②メール  
sakubun@hyogoben.or.jp  
(作品は添付ファイルにて送信下さい)

##### 6 締切

2010年(平成22年)9月30日必着  
(メールの場合は9月30日受信分まで)

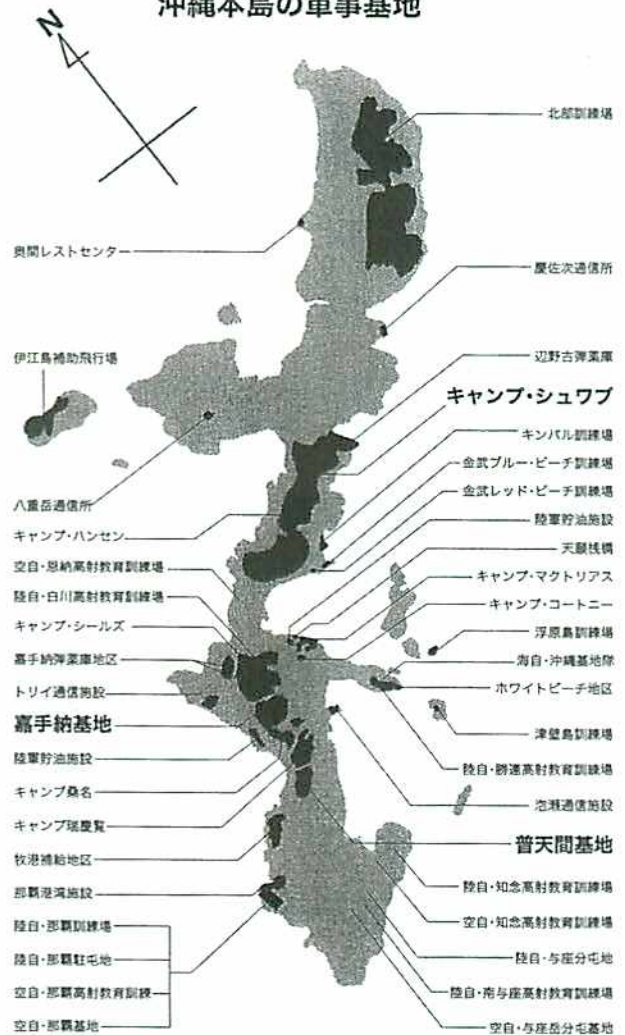
##### 7 表彰式

入賞者は憲法市民集会において表彰し、また当日会場において受賞作品を発表します。

##### 8 応募の際の注意

- ①応募作品は未発表のものに限ります。
- ②応募いただいた作品はご返却できませんのでご了承下さい。
- ③入賞作品の著作権は主催者に帰属します。
- ④応募にあたり記載していただいた個人情報は、入賞者への連絡、賞品等の発送のためのみに利用し、ご本人の同意なしに第三者に開示・提供することはありません。

沖縄本島の軍事基地



(半田滋著「防衛融解 指針なき日本の安全保障」(旬報社)から転載)